

出席不足でも単位 愛教大教授が停職

愛知教育大（愛知県刈谷市）は28日、学生6人に、不正に単位を認めたとして、60代の女性教授を停職2

カ月の懲戒処分にした。

大学によると、不正があったのは教授が2016年度前期に受け持った授業。教授は、単位の条件の3分の2以上の出席をしなかった学生2人の単位を認定したほか、授業を履修していない学生4人にも求められて、

レポートの提出を条件に認めた。

教授は、調査に「学生の希望に沿って単位を認めてしまった」と述べており、過去にも同様の不正な認定をしたことを認めている。後藤ひとみ学長は「極めて遺憾で深くおわび申し上げます。再発防止に取り組む」

とのコメントを出した。

大学側は、昨年8月に学生の単位が認定された後、不正を把握したが、調査委員会を設けて調べるなどした結果、公表が遅れたとしている。不正に単位を取得した学生には、補講などで個別に対応するという。

事
10
84

出席不足に単位
愛教大教授処分
停職2カ月
愛知教育大(刈谷市)は28日、出席不足で単位を得られる資格のない学生に与えたなどとして、教育学部の60代の女性教授を同日付で停職2カ月の懲戒処分にしたと発表した。同大人事務課によると、教授は2016年度前期(4〜9月)

の授業で、計15回の講義のうち10回以上出席しなかった学生には単位を与えてはならないとの内規に反し、10回未満の学生6人に授与した▽同年度前期の講義を、無届けで3回休講した―などとしている。教授は「学生ののために単位を与えた―などと話しているという。教授は12年度前期にも、出席日数が足りない学生に単位を与えたという。

【月定寛樹】